



札幌市サッカースポーツ少年団連盟 広報紙
2023. 12. 26 No. 16

きずな

5部リーグLブロック

Lブロックは、南月寒、シーガル、札幌美園、幌北北九条、苗穂・ガンバ FC、八軒北、FC当別、共栄、allons fc の9チームが熱戦を繰り広げました。各チームともに6年生が少なく、5年生や4年生が体の大きな6年生のスピードにくらいつく試合が多く見られました。

リーグ戦は、大雨、猛暑、感染症拡大等、様々な理由で延期があり、試合数や試合順が不規則となったため、常に暫定順位という状態で進みました。南月寒、札幌美園、幌北北九条、allons fc の4チームがリーグの上位に位置し、最終的には勝ち点6の中に4チームがひしめく争いとなりました。

そんな中で優勝したのは、今年度新規参入のallons fc。ピッチを広く使い、GKを含めたDFか



らのビルドアップは他チームの一步上をいっていました。接戦を引き分けること無く、しぶとく勝ちきって勝ち点を積み重ねた結果の優勝でした。準優勝の札幌美園、3位の南月寒、4位の幌北北九条は固いディフェンスで失点を最小限に抑えながらの見事な戦いぶりでしたが、引き分けで勝ちきれない試合があったことが、allons fc との違いでした。

今年度は上位にくいこめなかった5チームも、失点直後もよく声を出し、少数精鋭ながら元気でチームワークの良い5チームでした。

SSAP 天然芝グラウンドや当別遊遊公園で行うことができ、天然芝でのサッカーを十分に楽しむことができたことが、Lブロックの選手たちの喜びであったと思います。6年生とともに頑張った下学年の選手たちが、今後チームを支える選手になることに期待します。

会場校となったチーム、芝のグラウンドの設営や撤去を担当したチーム等、全指導者、全保護者の協力により、実りのあるリーグ戦となりました。

